

## 優和のミニかわら版

(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

### 最近の法人税の課税状況

国税庁が平成18年7月から平成19年6月の法人税の課税状況を公表しました。まとめてみると以下のような内容です。

1. 黒字申告割合 32.4%

4年連続の上昇となりました。

2. 黒字申告1件あたりの所得金額 6,254万円

3. 赤字申告1件あたりの欠損金額 861万円

4. 実地調査の割合 4.9%

実地調査件数は14万7千件と3年連続上昇しており、法人数は300万5千と前年度より2万8千増加して過去最高となりました。

5. 1件あたりの実地調査日数 8.9日

前年度の9.0日とほぼ同等の日数です。

6. 更正・決定等のあった割合 73.5%

実地調査を行なった法人14万7千件のうち、更正・決定等があった件数は10万8千件、申告漏れ所得金額は1兆7,247億円(1件あたり16百万円)で、前年度に比べ593億円増加しています。

7. 仮装隠ぺいによる不正発見の割合 21.7%

実地調査を行なった法人14万7千件のうち、仮装隠ぺいによる不正計算があったものは3万2千件(前年度2万9千件)、不正脱漏所得金額は前年度204億円増の4,346億円(1件あたり13.5百万円)となりました。

8. 不正発見割合の高い業種 バー・クラブ、パチンコ

トップは5年連続でバー・クラブ、不正発見割合は52.0%、1件あたりの不正脱漏所得金額は1,167万円でした。つづいてパチンコ、不正発見割合は49.1%、1件あたりの不正脱漏所得金額は3,447万円でした。